



写真： ニール・モンタナス

## 紹介

ヨセミテ国立公園は、カリフォルニア州の東側に沿った、シエラ・ネバダ山脈の高い山々に囲まれた場所に位置しています。ヨセミテは、1864年に、初めは保護するのに政府から指定され、1890年に、公の国立公園になりました。公園の面積は3,000キロ平方メートル以上あり、海拔600メートルから4,000メートルの所にあります。公園は、ヨセミテ・ヴァレー、巨木セコイア樹林、高山エコシステムなどを含めた、非常に多様な景色の特徴を現しています。

315キロメートル以上にも及ぶ道路があり、車や時には、無料のシャトル・バスに乗って園内の様々な場所に行けます。ヨセミテの素朴な美しさを実際に経験するには、公園の歩道をハイキングす

るをお勧め致します。ヨセミテの雄大な風景は皆様を魅了することでしょう。何百万もの大勢の観光客がヨセミテの稀なる美しさに、間違いなく心身ともに癒されるでしょう。ヨセミテ観光に訪れたことが、印象深く、心に永遠に残ることでしょう。

ヨセミテの歴史は、現在の北アメリカ西部が浅い海の中であった頃の、5億年前まで遡ります。その当時は、海水に沈積岩が含まれていました。約1億2千万年前、地球の外部で、大きな活動している二つのプレートが衝突しました。一方のプレートが、もう一方のプレートの下に潜り込んだことで、摩擦が起き、岩石が溶け出しました。火山の表面には溶けた岩石が流れ、一方下に潜った方は、地下で固まり御影石を形成したのです。侵食

作用で沈積岩が削り取られ、あちこちに御影石が露出しました。氷河が岩を削り取り、現在私達が見ている風景を形成しました。風雨、雪、などの気候と侵食作用などが、ヨセミテの表面を変化し続けています。

## 更に詳しい情報と案内

スピード制限：スピード制限が表示されていない場合、ヨセミテ国立公園内で認められている運転速度制限は、45マイルです。大部分の事故は、不注意運転や速度制限を超えて運転したために起きたものです。車道では停止しないで下さい！ 写真を撮ったり、動物や地図を見たりする時は、安全なパーク・スペースを探して下さい。道路脇の運転は禁止されています！

誰も監視していない場合は、車内に貴重品を置きっぱなしにしないで下さい。車を安全な場所に置き、いつも必ずロックしておいて下さい。キャンプしている所から立ち去る前に、大事なランプ、料理道具、その他の品物を、テントの中や車のトランクの中に入れておいて下さい。盗まれた場合は連絡して下さい。救急事態が起きた場合は、911へ電話して下さい。

ペットは必ず綱をつけておいて下さい。ペットはハイキング道、川の周辺、川の砂地、公共の建物、高山などでは禁止されています。ペットが全てのキャンプ場で許可されているとは限りません。ペットが認められている特定のキャンプ場に関しては、予約する時や、「ヨセミテ・トゥデー」の新聞を見て下さい。夏の

## 公園地域

ヨセミテ・ヴァレー：「自然の雄大な大寺院」とよく言われているように、ヨセミテ・ヴァレーは氷河が削り取った典型的な渓谷の一例です。爆音をとどろかせて流れ落ちる滝、御影石の絶壁、草地、塊状の岩の形成など、まさに自然の驚異で満ちあふれています。150年以上も数多くの詩人、画家、写真家、それに何百万もの大勢の観光客がヨセミテの圧倒する景観に魅了されました。

氷河期に発達したヨセミテ・ヴァレーの特徴は、高山の氷河が流れて、マセッド川峡谷を形成したことです。氷河は柔らかな御影石を削り取り、深い峡谷の幅を広め、エル・キャピタンとかカシードロウ・ロックのような硬い岩だけを残し、独特な地形を形成しました。氷河がついに溶けて、後退し、残った堆積物が流れを止め、新しいU型の谷間に浅い湖を作り上げました。この大昔のヨセミテ湖に、何年間にもわたって沈殿物が堆積しました。平らな渓谷の谷底に今日でも残っています。似たような沈殿物による現象が、ハーフ・ドームの北側の真下にあるミラー湖で最近起きています。



イラスト： ドーブ・ポック

現在ヨセミテ・ヴァレーの低地は、様々な野生の花、草や木が生えた森と草地のモザイク模様をなしています。数多くの野生生物が異なった生息地で見られます。例えば、モナーク蝶、野鳥、黒尾鹿、コヨーテ、黒熊などです。数多くの滝が絶壁の岩肌から、谷間に向かって真っすぐ落下しています。5-6月は水量も多く；しかしながら、8月、9月にな

ると完全に枯渇してしまう滝もあります。739メートルのヨセミテ滝は、北アメリカでは最長の落差があります。園内にある、素晴らしい景観をなしているその他の特色ある滝には、パライダルベール（189メートル）、ブルー（97メートル）、ネバダ（181メートル）、イリロエツ（113メートル）などがあります。

最初に、ヨセミテ・ヴァレーのビジター・センターを訪れて下さい。ヨセミテの自然と文化史について、様々な展示がなされており、互いに影響しあっているのが分かるでしょう。園内の森林警備隊員から快く情報が聞け、皆様の計画のアドバイスもしています。「ヨセミテの精神」と言う美しい23分の映像を見て下さい。ビジター・センターの中で30分おきに上映しています。ビジター・センターの西側にあるインディアン村も、是非訪れて見て下さい。インディアン文化資料・博物館は、ヨセミテ渓谷にもとと住んでいたミワクとバイエト部族の文化史について、観光客に案内しています。博物館のギャラリーは芸術的な画題として、ヨセミテを題材としている多くの芸術家達の価値ある展示をしています。

忠告  
ヨセミテ・ヴァレーに到着したら、訪問者専用の駐車場に車を止めて下さい。ヨセミテ・ヴィレッジへは歩いて行ける距離です。そこからは殆どの渓谷に行ける無料のシャトル・バスがあります。さらに、殆どの渓谷へ歩いて行けます。

草地、川の土手周辺や森などが、我々人間の手でいとも容易く被害を被ってしまっています。このような自然の状態を、元に戻す努力をしています。どうか元に戻す努力を重んじて、環境を保護し、決められた歩道に沿って歩いて下さい。

ワウオナ：ヨセミテの南側入り口に位置しています。ワウオナは最初、インディアン居留地でした。1856年にゲラン・クラーク氏がそこにホテルを建て、彼にちなんで名付けました（クラーク・ステーション）ヨセミテ渓谷を旅行する観光客は、そこに宿泊できます。1864年に、ヨセミテ・ヴァレーと巨木セコイアが林立するマリボサ樹林が、ヨセミテ・グラントにより保護されています。クラーク氏はヨセミテの最初の監視者になりました。

ロッジ：ロッジ、レストラン、売店などが園内にあります。詳細については、「ヨセミテ・トゥデー」をお調べ下さい。園内の宿泊予約は必ず必要です。連絡先：ヨセミテ公園ロッジ予約Yosemite Park Lodging Reservation, 5410 East

1875年にワウオナ道路が開通すると、ウォシュバーン兄弟がそこを手に入れました。兄弟達はそこにワウオナホテルを建設しました。現在もまだ営業しています。ワウオナでは、ヨセミテの発展やそれに携わった人々などについて知ることが出来ます。バイオニア・ヨセミテ・ヒストリー・センターでは、歴史的な特徴を持つ開拓者の住んだ家々、馬車の収集などが、ご覧になれます。



イラスト： ドーブ・ポック

セコイア：セコイア樹林はヨセミテ国立公園内に三ヶ所あります。マリボサ樹林が最大です。ハイウェイ41号線沿いで、ヨセミテ・ヴァレーの56キロ南にあります。ツォラミー樹林とマセッド樹林は、ハイウェイ120号線に沿ったクレイン・フラット近くの峡谷の北西にあります。これらの巨木は世界最大の生物です。殆どが1,000年以上です。何本かのセコイアは、南北戦争が始まる以前ののもので、今でも現存しています。

セコイアのエコシステムは複雑です。セコイアは再生産システムと耐火能力があることで有名です。木と樹皮は耐火性があります。多くの火災から生き残ったことを示す、焼け焦げた形跡が、健康な木の幹に残っています。小さな種子が発芽するには、種子は松かさから露出して、鉢物が豊富にある土壌が必要で、さらに、火災でできた空き地に、

キャンプ： キャンプ場は園内にあります；年間を通してオープンしている所もありません。大部分は予約が必要です。決められたキャンプ場だけで、キャンプができます。道路脇、駐車場、での宿泊は禁止されています。来た順に受け付

太陽の直射日光も必要となります。大昔に度々起きた自然火災が、森林を開き、競い合って育っている植物を取り除き、鉢物豊富な露出した土壌を作り上げました。しかしながら、木々からおちた枝、松葉、松かさなどが数年間の火災抑制で、森の地面に蓄積しました。これは、セコイアの再生産作用を止め、日陰でも育つ木を生茂らせません。規定した火災が森林警備隊員らによって行われます。このような火災は自然火災をまねており、森林の健全性を改善します。

グレイシャー・ポイント： グレイシャー・ポイントの素晴らしい景観に目を奪われる事でしょう。特に夕日や満月の夜などは、御影石に映る不思議な光景がご覧になります。3,200フィートある絶壁の頂上から、ヨセミテ・ヴァレーの大パノラマは雄大です。峡谷の反対側には、ヨセミテ滝がゴーゴーと絶壁を流れ落ちていきます。北側と東側は、シエラ・ネヴァダ山稜の大パノラマが目の前に広がっており、目を見張るような景色です。この近くから壮大な景観の渓谷を見下ろすことができる歩道があります。夏の期間はヨセミテ・ヴァレーから32マイル（1時間）のグレイシャー・ポイントまで車で行けます。冬期は、バスジャーニー・バス・スキーエリアで道路が閉鎖されますが、グレイシャー・ポイントは、クロスカントリーのスキー客には絶好の場所となります。



イラスト： ドーブ・ポック

ツォラミー・ミドゥズと高原地：ツォラミー・ミドゥズと高原地はシエラ・ネバダで最も粗野で雄大な場所です。夏は、草地、湖、表面に露出した御影石の斜面などや生き物で満ちあふれています。成長する季節が短いため、植物や動物は成長したり、再生産するのに暖かい日差しを最大限に活用し、やって来る

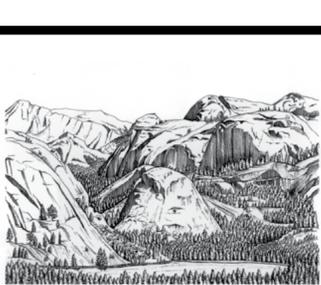
けるキャンプ用地は予約が必要ですがキャンプ場の入り口に掲示してある案内に従ってください。キャンプするには、手数料と滞在期間があります。詳細は「ヨセミテ・ガイド」を参考にして下さい。または、209/372-0200へ電話で聞いて下さい。

キャンプファイアーは、キャンプ指定地で、野外に既にある円形状に作られ、火が使えるところなどが、許可されています。ヨセミテ・ヴァレーでキャンプす

期間中だけ、観光客の連れてきた犬が預けられる犬小屋が、馬小屋のそばに設けられています。

狩り：狩りや銃の使用が、園内では禁じられています。銃は弾丸を取り除き、ケースに終っておけば園内で運べます。

ハイキング道：ハイキングする場合は、地図とコンパスの使い方をよく調べ、持ち歩いて下さい。ルートは表示されているよりも困難な場合もあります。ハイキング中にトラブルが発生したら、助けを求めて下さい！安全のため、馬や、らばの通過には優先権があります。遊歩道の脇に避けて、じっと動かさないで、動物が通り過ぎるまで立っいて下さい。



イラスト： ドーブ・ポック

冬に備えて食料を蓄えるのです。

風景明媚なタイオガ道路（ハイウェイ120号線）がヨセミテ高原を横断しています。道路は、1882年-1883年にかけて、鉱山道として建設され、1961年に再整備され改善されました。キラキラ輝く湖、はかない草地、磨かれたドーム、さらに、氷河の下にわずか10,000年前にあった、切り立った頂上などが道路で結ばれています。道路沿いに見渡すと、実に素晴らしい景観です。この道路は、カリフォルニア州で最も高地にあり、シエラ・ネバダの3,031メートルの山頂からタイオガ・パスを通り過ぎる自動車道です。道路は秋の終わりから春の半ば頃まで、時には、さらに長く閉鎖されます。

ツォラミー・ミドゥズ（標高2,600メートル/ヨセミテ・ヴァレーから5.5マイル/8.9キロメートル、車で1時間半）はシエラ・ネバダの中腹にある最大の草地です。夏は、ビジター・センター、キャンプ、ロッジ、レストラン、ガソリンスタンドなどがあります。泊まりがけの登山や日帰りハイキングに最適な出発地で、この辺りの夏は最高で予-野生の花や野生生物などで高原地帯は満ちあふれます。踏み歩くと、ヨセミテのもろい草地がいとも簡単に破壊してしまうため；自転車、乳母車やその他の乗り物などは禁止されています。高原地の旅は価値あるものですが、しかし、標高2,000メートルから4,000メートルでは、激しい運動は慣れた登山者でさえも困難なものです。

手つかずの自然：野生地は1964年野生条例の下に、ヨセミテのおよそ750,000エーカーあるうちの、95%近くが保護されています。初心者や経験豊かでハイキングを楽しむ人々に、公園の様々な手つかずの自然は、ハイキングするにも、登山するにも素晴らしい所です。およそ800マイルの歩道は天候、

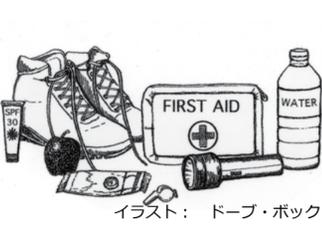
その規則を調べて下さい。空気の汚れを保護するのに、煙を最小限に抑えられる、乾いた木だけを燃やして下さい。立ち去る前には必ず水で火を消して下さい。地面の下でくすぶっているキャンプファイアーの火が、地下から遠くまで広がり、また表面に出て燃え出します。

サイクリングする人は、舗装された一般の道路、駐車場や自転車専用道路だけを走らせて下さい。歩行者や動物も自動車道を歩くので、ゆっくり走って下さい。常に道路の右側を走り、横に車がいったら、その車の左側を走り抜けてください。自転車で遊歩道を走るの禁止されています。

釣りは、園内で購入できる、カリフォルニア州の釣りのライセンスが必要です。カリフォルニア州が季節と捕獲数や大きさ等を規定しています。ヨセミテ・ヴァレー独自の規定もあります。更に詳しく知りたい場合、案内所やビジター・センターに行けば分かります。

標高、景観の素晴らしさ、など広範囲に渡り選べるようになっています。長期の登山や短期間の登山が、標高9,000フィートを越えるシエラ・ネバダの山頂近くまでできます。標高の高い地域の気候は寒く；低地の所は暖かく、乾燥しています。ビジター・センターに置いてある地図や案内書をご覧になれば、皆様の旅の計画に役立つと思います。

自然保護のため、宿泊する人は野生許可書が必要となります。野生許可取り扱いは所やビジター・センター、または、郵便で24週間前までに手配をして下さい。許可されたら、歩道の状態、天候、キャンプファイアー規則、出かけるごとに特別な注意が必要となるかなどを調べて下さい。許可書に付いている情報をよく読み、規則を守り、事故を最小限に抑えるようにして下さい。登山用の丈夫な登山靴と適した装備をして下さい。持ち物を再チェックして、決められた歩道を歩き、切り返し地点や道路以外のところを勝手に歩かないで下さい。そして、食料を保存するのに、クマ防止の缶を使用して下さい。一人でハイキングする場合は、何処に出かけるか、何時戻るかを他の人に知らせておいて下さい。馬やラバなどで行く場合は、案内所で調べて下さい。ペット、自転車、乳母車や銃などは、野生区域では禁じられています。園内の野生センターは、(殆ど夏の期間だけ開いている) 旅の計画立てをお手伝いします。



イラスト： ドーブ・ポック

クロスカントリー・スキーとかんじきは冬の自然を楽しむ人達には、また違った新しい世界でしょう。標高がより高い所は雪深く、夏の境界線を隠してしまします。厳しいシエラ・ネヴァダの冬は、夏よりずっと、人気があります。最良の装備、暖かい服装や適した計画が皆様の安対策には欠かせません。

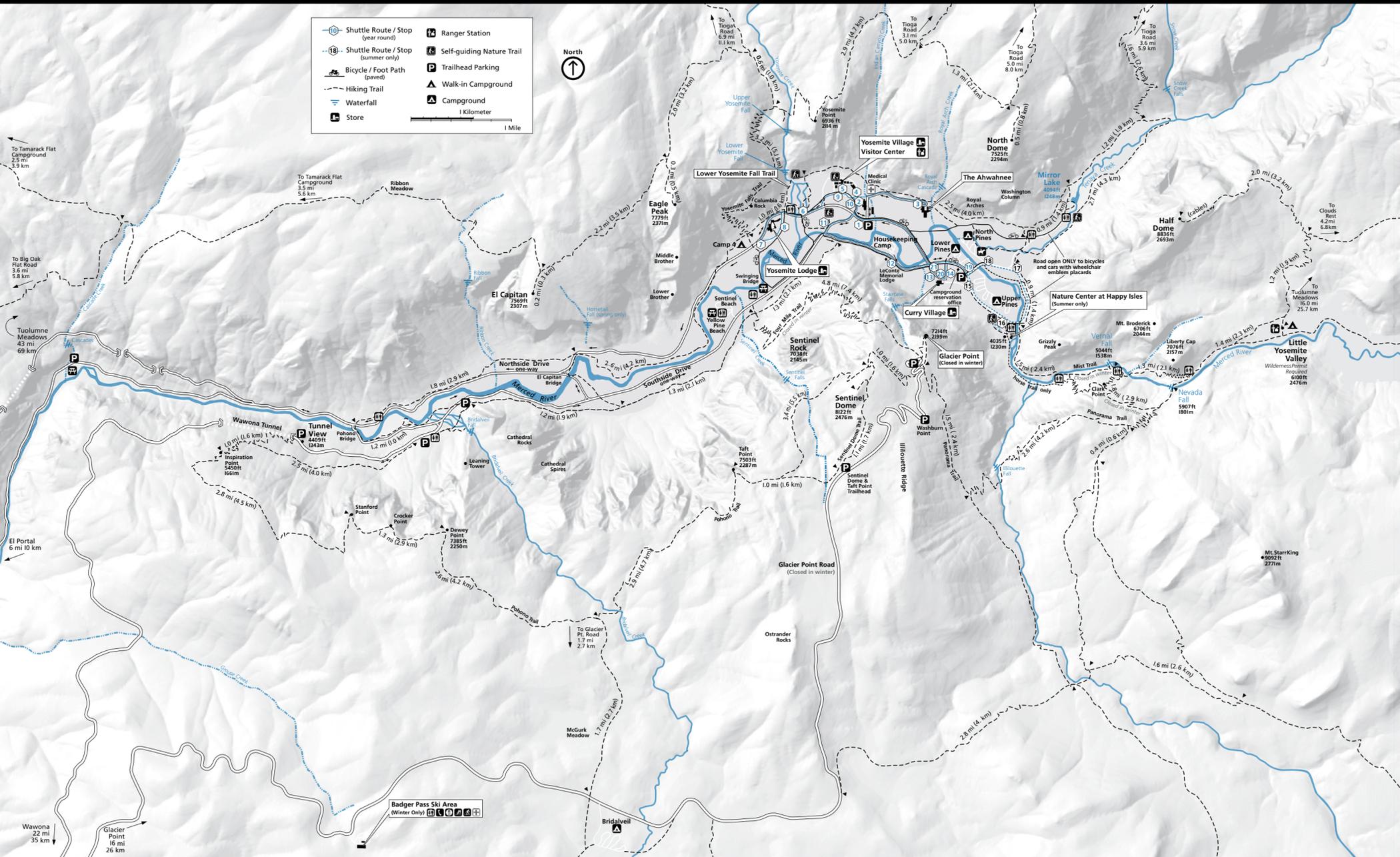
ヨセミテ・ヴァレー、巨木セコイア樹林内、標高9,600フィート以上の所などでは、キャンプファイアーに使用する木々を集めるのが禁止されています。他の場所なら、何処でも許可されています。枯れ木や地面に落ちている木々を集めたりするのも、禁止されています。



THE YOSEMITE FUND®  
Providing for Yosemite's Future

この企画はヨセミテ基金からの寄金によるものです。

# Yosemite Valley



## ヨセミテ・ピレッジ・ピジター・センター近辺

**クックス・メドウ・ループ** 難易度： 容易  
往復1.6キロメートル、所要時間 45分  
出発地点：ピジター・センター - シャトル バス停5  
この短くて歩いて行ける歩道からは、ハーフ・ドーム、グレイシャー・ポイント、センチネル・ロック、ヨセミテ滝やローヤル・アーチなど、目を見張るような素晴らしい景観が満喫できます。ピジター・センター近くのシャトル バス停5から出発して下さい。ヨセミテ滝に向かって、西側の自転車道に沿って進んで行って下さい。シャトル バス停6まで来たら、道路を横切って、南に向かって歩いて下さい。車に気を付けて下さい！自転車道に従って下さい。道路の東に向かう左分岐点を進んで行って下さい。センチネル・ブリッジの駐車場へ進んでから橋の方向へ行って下さい。マセッド川に反射するハーフ・ドームの素晴らしい景観が、そこからご覧になれます。駐車場からは、草地の上の板の遊歩道に従って、北へ向かって行って下さい。通りを横断して、東に歩道を歩いて行くと、ピジター・センターとシャトル バス停5に行けます。このハイキング道は身体障害者用の車いすでも行けます。

**ヨセミテ滝の下** 難易度： 容易  
往復1.7キロメートル、所要時間 45分  
出発地点：シャトル バス停 6 (ヨセミテ滝の下)  
このハイキング道は、手ごろで、距離も短く、道路も舗装されています。そり立つヨセミテ滝の、落下する上下の様を眺めれば、その素晴らしい景観に、観光客は目を見張ることでしょう。水量は10月末から8月初旬にかけて、ヨセミテ滝には充分流れ落ちています。雪が降りたり、雨が再び降るまでの、8月、9月そして10月初め頃までは、滝は枯渇しています。春の到来とともに、雪解け水で5月には、壮大な爆音をたてて落下するヨセミテ滝が見られます。ヨセミテ滝のハイキング道の東側へは、車いすでも行けます；西側へ車いすで行くには、介護をする人が必要となります。

**ヴァレー・フロアー・ループ** 難易度： 中間  
合計距離20.9キロメートル 所要時間 5-7時間  
片道10.5キロメートル 所要時間 2時間半-3時間半  
出発地点：ヨセミテ滝の下、シャトル バス停 6  
他の方法での出発地点：ハイキング道に沿えば、何処からでも行けます。ヨセミテ・ヴァレーを通過する東西ハイキング道は、最初に作られた歩道と昔の馬車道に殆ど繋がっています。中間地点まで行きたい場合は、エル・キャピタン・クロスオーバー道と橋から南に向かって進んで下さい。全行程を歩き通すのであれば、ブライダル・ベール滝までずっと行って下さい。ヴァレー・フロアー・ループはよく見落とされるハイキング・コースなので、さらに荒涼とした手つかずの自然が広がっています。時には歩道が見つけにくくなる場合もあります。この道に沿って行くと、センチネル・ロック、カシードロウ・ロック、ブライダル・ベール滝、エル・キャピタン、スリー・ブラザーズ やヨセミテ滝など、心を奪われるような景観を満喫することができます。

## 安全対策

**安全対策と予防**  
重症の怪我や惨事が時には起きます。様々なケースがありますが、一般的に、危険性があることを、軽く考えてしまう人が、犠牲者になりやすいのです。

川、小川、や滝は常に当てにはなりません；特に、水かさが増したときは、注意して近づき、水が土手の下を削り取った所や、滑りやすい石などには特に注意を払って下さい。急流や冷水などは致命的な危険性をおびています。滝の上や流れの速い川などでは、決して泳いだり、歩いて渡ったりしない

いで下さい。

水を処理せずに、川や湖あるいは雪解け水などを、決して飲まないで下さい。水を5分間熱湯消毒するか、またはヨウ素殺菌消毒するか、あるいは、ランブル鞭



イラスト： ドーブ・ボック

## 自動車で入れるハイキング道路：

**ブライダルベール滝** 難易度： 容易  
往復800メートル、所要時間 20分  
出発地点：ブライダルベール滝駐車場-ハイキング道  
この舗装された道路は、駐車場から滝の所まで、歩いてすぐ行けます。ブライダルベール滝は年間を通じて、たいいてい水が流れ落ちています。戻り道は同じルートです。春の初旬から夏の始め頃まで、ブライダルベール滝は、物凄い水飛沫を上げており、歩道が濡れている所もあります。ハイキング道は介護者がいれば、車いすでも行けます。

**パノラマ・トレール** 中間  
距離 13.7キロメートル、渓谷の下り坂 (-975メートル)；  
所要時間： 6時間  
出発地点：パノラマ・トレール、グレイシャー・ポイント  
既に述べた名のごとく、このハイキングは、ハーフ・ドームやシエラ山脈の連なりと同様にヨセミテ・ヴァレーの雄大なパノラマが広がる景色があります。約3キロ先のイリロエット滝を最初に横断して下さい。それから、パノラマ・クリフに沿って登り続けて下さい。ネバダ滝に近づくと、ミストとジョン・ミュージア道に繋がっています。どちらの道もハッピー・アイルズ (シャトル バス停 16) へ行けます。ミスト道はバーナル滝の縁にです。夏はシャトル バスに乗って、グレイシャー・ポイントへ行ける切符も買えます。予約が必要です。ツアーのカウンターで切符が買えます。

**フォー・マイル・トレール** 難易度： 困難  
往復15.5キロメートル；975メートル、  
所要時間 6-8時間  
出発地点：サウス・サイド・ドライブ沿いの、フォー・マイル・トレール他の方法で行ける出発地点：シャトル バス停 7 (行程に800メートル追加)  
このハイキング道は、センチネル・ロックの下から出発して、ヨセミテ・ヴァレーの上のグレイシャー・ポイントへと曲がります。この歩道からは、ヨセミテ滝、エル・キャピタンやハーフ・ドームなどの雄大な景観が見えます。夏は、グレイシャー・ポイントまでのシャトル バスで行け、歩道を下って行けます。(シャトル バスについての詳細はパノラマ・トレールの説明書を参考にして下さい) この歩道は特に氷がはけるので、冬の期間中は閉鎖されます。



イラスト： Lawrence W. Duke

毛虫を取り除くフィルターで、水の処理をするかして下さい。

熊は食べ物の臭いに引きつけられて来ます。食べ物やごみ箱を漁ろうとするのに、熊は毎年何百、何千ドルもの損害を及ぼします。暗くなったら、車の中に食料や、臭いするものを置かないで下さい。できたら鍵のかかる食料入れを使用して下さい。不適当な食料の仕舞い置きは罰金を被る違反行為となります。詳細は「ヨセミテ・ガイド」を見て下さい。

マウンテン・ライオンと呼ばれる動物がこの公園にいます。この動物が攻撃す

ることはまれですが、一人でハイキングしたり、走ったりは避けて下さい。歩道を歩く時は、子供に先頭を歩かせないで下さい。ライオンに遭遇したら、走ったり、うすくまったりしないで下さい。子供は抱えて下さい。手を振ったり、大声を出したり、石を投げたりして下さい。攻撃されたら、戦って下さい。

野鳥、コヨーテ、リスなどを含めた野生動物には、絶対餌を与えないで下さい。餌を与えるとは野生として生き残る妨げとなります。動物は一見飼いらされてるように見えますが、酷い怪我を被る恐れがあります。餌を与えたり、公園内の野生動物に近づくことは、法律違反となります。

## シャトル バスで行けるハイキング道：

**ミラー湖/草地** 難易度： 容易  
湖まで往復3.2キロメートル、所要時間 1時間  
湖を一周する8キロメートルのハイキング道、所要時間 2時間  
出発地点：シャトル バス停 17 からミラー湖まで  
バス停から舗装された道路が、真っ直ぐミラー湖まで続いています。沈殿物の堆積は、ゆっくりと徐々に湖を埋め尽くしています。ミラー湖に行くには、最初テナヤ・クリークに沿って歩き、それから、スノー・クリーク近くの橋を渡ると、ミラー湖の東側に戻れます。周囲が切り立った崖に囲まれている湖は、冬から春の季節にかけて、さらに水かさが増すと、鏡のような湖面に周囲の切り立った崖が映ります。ハーフ・ドームはミラー湖の真上です。道路に沿った案内掲示板には、湖が堆積物で草地になってしまったことを、説明しています。ミラー湖への道路は、身体障害者専用のバスがある車にも、開放されています。(ピジター・センターで入手できます。)湖までの道路は介護者が付き添えば、車いすでも行けます。

**ハッピー・アイルズ** 難易度： 容易  
往復 800メートル、所要時間 20分  
出発地点：ハッピー・アイルズ - シャトル バス停 16  
バス停からハッピー・アイルズ・ネイチャー・センターまではほんの少しのハイキングです。この家庭的で友好的な所は、シオラマとか、手で触れる展示、野生生物の展示、互いに連鎖する展示、それに土産物店などがあります。この歩道はネイチャー・センターから、1996年のかけ崩れの景色が見られ、マセッド川にある島へ行けます。ネイチャー・センターと近くの歩道までの道は介護者が付き添えば、車いすでも行けます。

**バーナル滝とネバダ滝** 難易度： 中位から困難  
・バーナル滝の歩行者専用橋で見下ろせる所まで：  
往復2.6キロメートル；120メートル 上り坂；所要時間 1時間半； 中位  
・バーナル滝の上：往復4.8キロメートル；300メートル 上り坂；  
所要時間 3時間 困難  
・ネバダ滝の上： 往復11.2キロメートル；600メートル 上り坂；  
所要時間 5-6時間 困難  
出発地点：ハッピー・アイルズ - シャトル バス停 16  
歩行者専用橋から、バーナル滝とマセッド川の特別素晴らしい景色が眺められます。橋から300メートルの所で歩道は、ミスト・トレール行きと、ジョン・ミュージア・トレール行きとに別れています。バーナル滝の縁に直接行くと、ミスト・トレールに沿って行って下さい。800メートルほど歩きます。600以上ある御影石の石段が特徴です。滝からの水飛沫で歩道は非常に滑りやすくなっています！春と夏の期間は、ミスト・トレールは正にその名のごとく、バーナル滝に流れ込む大量の水で、その周辺一帯は、水飛沫に包み込まれています。上着を着用すれば、太陽や水飛沫を防げます。バーナルからネバダまでの歩道は3.2キロメートルあり、険しく曲りくねったルートです。手軽ですが、長くかかるジョン・ミュージア・トレールから戻れます。その歩道は歩くに、絶景のネバダとバーナル滝の両方が見えます。ミュージア・トレールは、マセッド川歩行者専用橋の近くからミスト・トレールへ、そして、ハッピー・アイルズ (ミスト道の上の方は、冬は閉鎖されます。)へ戻れます。

**ヨセミテ滝の上部** 難易度： 困難  
往復11.6キロメートル；820メートル 上り坂；所要時間 6-8時間  
出発地点：ヨセミテ滝の上部/キャンプ 4 - シャトル バス停 7  
ヨセミテ滝の上の歩道は、ヨセミテの歴史的な歩道の一つです。1873年以来このルートで、渓谷の上にある落差739メートルの、美しく流れ落ちる滝の山頂に行けるようになりました。非常に険しい斜面に沿って、ハイキング道から逸れないようにして下さい。ハイキングの出発地点から、およそ1.5キロメートルの (カーブが多い) コロンビア・ロックからはヨセミテ・ヴァレー、センチネル・ロック、センチネル・ドームやグレイシャー・ポイントなどの素晴らしい景観が満喫できます。

**ハーフ・ドーム** 難易度： 非常に困難  
往復 27.4キロメートル；1,450メートル 上り坂  
所要時間 10-12時間  
注意： 5月末頃から10月中旬にかけて、ハーフ・ドームに手すり用の太綱が取り付けられます。

警告！ 以下の様な場合は、ハーフ・ドームを登らないで下さい。  
(1) 太綱が設置されていない場合  
(2) 雨が降りそうな天候の場合  
(3) 稲光や雷鳴の起きそうな場合  
上記のような状態は命を落とす危険性があります。  
出発地点： シャトル バス停 16 - ハッピー・アイルズ  
ネバダ滝の縁までミスト・トレールカジョン・ミュージア・トレールに沿って歩いて下さい。ハーフ・ドームと表示されている東に向かう歩道に沿って歩いて下さい。最後の275メートルの歩道は、ハーフ・ドームの東側に登るにつれて、非常に険しい勾配となっています。ハーフ・ドームの頂上までの200メートルを登るのに、太綱が不可欠です。ハーフ・ドームの頂上は広く、かなり平らになっています。素晴らしい景観をたっぷり、心ゆくまで満喫してください！